

尾道特別支援学校の児童生徒が台湾の姉妹校と オンラインで交流を行います！

広島県立尾道特別支援学校の小中学部児童生徒と、姉妹校である台湾の国立嘉義特殊教育学校の生徒がオンラインで交流を行います。

台湾との姉妹校交流は平成27年9月に始まり、児童生徒がグローバル社会に対応できる幅広い視野をもち、主体的に行動するコミュニケーション能力を身に付けること、文化や言葉、様子の違いに気付くことを目的としています。

今年度の交流は、お互いの学校が自分たちの学校生活についてのクイズをそれぞれ10問ずつ出し合います。お互いがやりとりできるように、内容を工夫しました。

本校児童生徒がお互いの国や学校について学習したり、交流したりすることにチャレンジしますので、是非取材にお越しくください。

- 1 日時 令和8年6月24日（水）10：55～11：45
- 2 場所 尾道特別支援学校 各教室
（尾道市栗原町1524）
- 3 内容 姉妹校とのオンライン交流（お互いの学校生活についてのクイズ）
10：55 本校教頭・姉妹校校長 あいさつ
11：00 姉妹校との交流
11：40 本校 中学部第3学年生徒代表 あいさつ
11：45 終了
- 4 参加者 聴覚障害部門 小中学部 児童生徒13名
知的障害部門 中学部 生徒22名

昨年度の交流の様子

